

編集後記

研究科が紀要を発行する意義は、研究科教員による研究活動の広報ならびに研究科および学部の学生による研究成果の集約であると考えます。各分野に特化した研究論文は、学会誌やジャーナルなどの専門学術誌に掲載されており、Web から容易にダウンロードできるものが多くなりました。一方、紀要は、そのような専門学術誌に掲載されるような論文だけでなく、関連する報告なども掲載するなど、懐の深い点が特徴です。研究データを取得するための苦労や楽しさなどを紹介する報告もあってよいと思います。

今号では、三重大学生物資源 100 周年記念事業の記録を研究科長にご執筆いただきました。関連して、生物資源 100 周年記念植樹クマノザクラに関する拙稿を加えてご報告いたします。さらに、水圏生物利用学研究室における教育活動を社会人大学院生の視点でご報告いただくことができました。ご投稿くださった方々ならびに査読してくださった教員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

最後に、編集および出版に携わっていただいた、研究科事務部の川村友香さん、久保晴香さん、清水洗次郎さん、日比野麻里さん、下村総大さん、伊藤印刷の近澤泰之さんをはじめ、ご協力いただいた皆さまに感謝いたします。

2023 年 12 月

生物資源学研究科紀要編集委員長 (49 号) 木佐貫 博 光